



「知」の集積と活用の中

木質外被研究開発プラットフォームシンポジウム

-木材のカスケード利用を動かす-

地域資源である木材のカスケード利用の実現を目指し、分野・業種を超える多くの方々を対象としたシンポジウムを開催します。

地域資源である木材は、私たちがまだ知らない利用方法や可能性があります。本シンポジウムでは、地域木材の木材化学最先端利用や良質材利用などを紹介し、木材のカスケード利用をすすめる地域協同の取り組みについて、参加者の皆さんと考えます。

講師：国立大学法人群馬大学大学院理工学府分子科学部門助教 橘 熊野氏
演題「バイオマス資源由来化合物の利用法」

開催日時：平成29年12月22日（金）午後1時30分から4時
受付開始12時45分

開催場所：長野県松本合同庁舎 講堂（長野県松本市島立1020）

参加申し込み：木質外被研究開発プラットフォーム管理運営機関にFAX又はメールにて申し込み下さい。

FAX：0263-51-5352 メール：info@kazu-design.co.jp

木質外被研究開発プラットフォーム管理運営機関：有限会社和建築設計事務所

木質外被研究開発プラットフォームシンポジウムは、農林水産省「知」の集積による産学連携推進事業のうち研究開発プラットフォーム 運営等委託事業の一環として開催されます。



主催：「知」の集積と活用の中 木質外被研究開発プラットフォーム

後援：長野県松本地域振興局、日本政策金融公庫、松筑木材協同組合

「知」の集積と活用の中産学官連携協議会

木質外被研究開発プラットフォームとは？

農林水産省の「知」の集積と活用の中 産学官連携協議会に登録した 建築物の木質外被を商品化するために必要な理化学的な研究開発を行うことを目的とし、会員が組織、分野、地域等の垣根を超えて連携し、新たな商品化・事業化を目指し共同して研究開発に取り組むオープンな活動母体です。

本プラットフォームは、2016年に設立し、「木質開口部分野」「木質壁分野」「木材改質・木質断熱材分野」「木質製品製造システム分野」の研究開発コンソーシアムがあります。国内企業、研究機関、個人の18会員で活動をしています。

農林水産省の「知」の集積と活用の中 産学官連携協議会ホームページ

<https://www.knowledge.maff.go.jp>

木質外被研究開発プラットフォームシンポジウム 参加申し込み

FAX：0263-51-5352

参加者名： _____

(所属名) _____

参加者名： _____

(所属名) _____

参加者名： _____

(所属名) _____

参加者の個人情報、当シンポジウムに関する連絡・確認の目的で利用させていただきます、その他の目的では使用しません。

会場へは、公共交通機関をご利用下さい。